

平成29年度 沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会

議事要旨

1. 日時：平成30年2月7日（水）15：00～17：00
2. 場所：沖縄総合事務局2F災害対策室
3. 出席：上原委員長、大城委員、金城委員、諸喜田委員、立原委員、津嘉山委員、盛下委員、（欠席：加賀谷委員）
4. 議事：（1）「金武ダム定期報告書（案）」について
（2）「金武ダム事後評価（案）」について
5. 主な意見
 - （1）金武ダム定期報告書（案）について
 - 洪水調節
 - ・近年雨の降り方が変わってきている。本土の洪水では流木や線状降水滞といったことも話題となっている。今後の検討に当たり注意されたい。
 - 利水
 - ・水資源の70%以上は国のダムが供給しているわけなので、今後の観光客への対応等水需給の検討には国においても試算すべきである。
 - 生物
 - ・重要種の減少は、湖岸部の地形条件が急峻で湿性地の面積が減り、産卵場所がなくなったためと考える。産卵用の浮島を設置するなど、具体的な対応の実施を記載すべきである。
 - 水質
 - ・アオコは今後も出続けると考えられるが、対策としては、流域対策が必要である。
 - （2）金武ダム事後評価（案）について
 - ・まとめの記載方法として、事後評価の方法と今後の方針が記載されているが、いわゆる全体像を示すような形でわかりやすく記載すること。